

<b>第5回 横浜市公園及び公園施設指定管理者選定評価委員会議事要旨</b>	
日 時	令和4年9月8日(木) 午前9時00分～午後5時15分
開催場所	横浜市役所 18階共用会議室 みなと6・7会議室
出席者	金子委員長（元東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授） 川西委員（川西税務労務事務所 税理士・社会保険労務士） 鈴木委員（独立行政法人都市再生機構都市再生部 担当部長） 飯島委員（東京都市大学環境学部教授） 桂委員（ライフデザインラボ代表）
欠席者	なし
傍聴者	なし
開催形態	非公開
議 事	<p>1 面接審査の実施方法の説明 各団体の面接時間、質問の順番等面接の実施方法を事務局から説明。内容を了承した。</p> <p>2 面接審査の実施 仏向原ふれあい公園ほか5件の応募団体の面接審査（プレゼンテーション及び質疑）を実施した。</p> <p>3 指定候補者の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員の採点結果を集計の上、面接審査点（平均点）を事務局から報告した。</li> <li>・報告に基づき、応募団体の面接審査点を確定し、各公園の指定候補者及び次点候補者を以下のとおり決定した。</li> </ul> <p>■仏向原ふれあい公園の指定候補者を横浜植木株式会社に決定した。次点候補者を特定非営利活動法人建物管理ネットワークに決定した。</p> <p>【委員から主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定候補者の提案は農に関する専門的なノウハウが生かされており、地域との連携についても具体的に言及されている点を評価した。</li> <li>・次点候補者の提案は、指定候補者と比べると分区園に関する提案内容の具体性や地域課題の捉え方、維持管理作業の水準等に不十分な部分があると考えた。</li> </ul> <p>■若草台第二公園（分区園に限る。）・大榎杉の森ふれあい公園の指定候補者を株式会社田澤園に決定した。次点候補者を東急グリーンシステム株式会社に決定した。</p> <p>【委員から主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定候補者、次点候補者ともに優れた提案をしてくれましたが、指定候補者は絶滅危惧種の山野草の管理や協働農園の管理計画について具体的な提案がされていたことが良かった。</li> <li>・指定候補者には、2つの公園の連携や利用料金収入の増加などの取り組みを期待する。</li> </ul> <p>■本牧臨海公園・本牧市民公園の指定候補者を横浜植木株式会社に決定した。</p>

**【委員から主な意見】**

・カフェを中心としたレストハウスでの情報発信や利用者との交流を公園運営に反映する試みは、公園利用の活性化のみだけでなく、管理面の課題や問題把握の面でも優れた提案と考えた。

・今後、本公園の課題解決に資するような新たな取り組みにも期待する。

■本牧山頂公園の指定候補者を横浜植木株式会社に決定した。

**【委員から主な意見】**

・レストハウスのリニューアルやカフェ運営等の来援促進策、ドッグランの利活用や広域避難場所であることを意識した災害対応訓練など地道な維持管理に関する取り組みについて評価した。

■長浜公園の指定候補者を横浜市緑の協会・サカタのタネグリーンサービスグループに決定した。次点候補者を横浜緑地・GM 清水・横浜 FC パートナーズに決定した。

**【委員から主な意見】**

・指定候補者は貴重な野鳥を観察できるエリアを含む管理の難しい本公園について、野鳥や植物等の記録やモニタリング結果のとりまとめを行うなど今後の環境維持に資する活動にも期待したい。

・次点候補者の提案には、球技場の利用方法や料金設定及び市民利用との関係性について曖昧な部分が見られました。また、芝の養生サイクルの変更については、確実性・実現性の面で未知の部分が多いと考えた。

■本郷ふじやま公園（弓道場に限る。）の指定候補者を横浜市弓道協会に決定した。

**【委員から主な意見】**

・大会や教室の開催などを通じて、弓道の普及啓発に関する取り組みに期待したい。